

# 子ども読書支援センターニュース No.180

2019.5.31.

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行  
TEL083-924-2111 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

### ★幼児のためのおはなし会

○日時：6月4日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 ○対象：幼児

（5月のおはなし会で使った本）

『ママ、あのね』 福田幸広/写真 ゆうきえつこ/文 岩崎書店 2014

『くもくもくもく』 堀川真/脚本・絵 童心社 2013

『おかあしちゃん。はあい。』 くすのきしげのり/さく 岡田千晶/え 佼成出版社 2015

『パンダちゃん』 福田幸広/しゃしん ゆうきえつこ/ぶん そうえん社 2015

『パンダなりきりしたいそう』 いりやまさとし/作 講談社 2016

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

### 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

#### <絵本-3, 4歳から>

『あそびうたするものこのゆびとまれ』 中脇初枝/編 ひろせへこ/絵 福音館書店 2019.4 ¥1600

遊びに誘うときのさそいうた、どれかひとつ選ぶ時のえらびうた、からかったりはやしたてたりする時のわるくちうた、おにごっこやなわとびなど外で遊ぶ時のそとあそびうた、願い事をする時のおまじないうた、たくさん遊んだ後のさよならうた。子どもたちにながく歌い継がれてきた選りすぐりのあそびうたをユーモラスな絵とともに紹介。巻末にはそれぞれの遊び方も掲載。

#### <絵本-5, 6歳から>

『ねえさんともうと』 シャーロット・ゾロトウ/文 酒井駒子/絵・訳 あすなろ書房 2019.4 ¥1300

姉さんと妹はいつも一緒。姉さんはなわとびをしていても妹が道路に飛び出さないか気をつけていたし、散歩に行く時も遊ぶ時もおやつを食べる時もいつも妹の面倒をみた。妹は姉さんにできないことはないと思っていた。ある日妹は、なんだかひとりになりたいたいと思ひ、姉さんがおやつを用意している間にそうと家を抜け出した…。お互いを思う幼い姉妹の成長を描く心温まる絵本。

#### <絵本-小学校低学年から>

『くもとそらのえほん』 五十嵐美和子/作・絵 武田康男/監修 PHP 研究所 2019.4 ¥1300

大雨を降らせたり雷をおこす入道雲、ふわふわと空に浮かぶわた雲、飛行機が通った後にうまれるひこうき雲、魚のうろこのような形をしたうろ雲、もわもわと青空を隠すおぼろ雲、雨を降らせる雨雲…。一口に雲といっても光によっていろいろな色になったり、風の流れて形が変わったり、様々な種類の雲がある。そんないろいろな雲を紹介した知識絵本。巻末には雲のでき方も紹介。

『ちいさな魔女とくろい森』 石井睦美/作 岡田千晶/絵 文溪堂 2019.4 ¥1500

ある満月の夜、大きな魔女と小さな魔女は病気になった北の森を救うために、一羽のカラスをつれて飛び立った。大きな魔女はお母さん、小さな魔女はその娘。さらに南の森も病気になり、大きな魔女は南の森を救いに行くことに。北の森を小さな魔女に託すため、母は森の薬の作り方を伝授する…。小さな魔女の成長と魔女の親子の絆、森への深い愛情を描く絵本。

#### <絵本-小学校中学年から>

『ミツ』 中野真典/著 佼成出版社 2019.4 ¥1800

作者の愛猫ミツはある春の嵐の夜、作者の腕の中で息をひきとった。「ぼくはミツをだいた わたげのようにかるくなったミツをだいた」「ひらいているミツのめをとじる ひらいてくる とじる ひらく またとじる」「ミツがわらう ぼくもわらう」ミツとの最後の濃密な時間、その姿を作者は何度も何度も描き続けた。「死別」をテーマに描かれた存在感のある絵本。

『あみかナクジラ』 川村たかし/文 赤羽末吉/絵 BL 出版 2019.3 ¥1600

村一番の漁師でんじは、入江の外に現れたクジラを一人でしとめようと果敢に立ち向かっていく。その姿に他の漁師たちも心を動かされ、村をあげてのクジラとりが始まる。紀伊の国（和歌山県）のひよりじいさんが語った勇壮なクジラとりの始まりの話。躍動感あふれる絵がいっそう物語をひきたてる。1972年に刊行の「クジラむかしむかし」三部作が揃って復刊。

#### <読み物-小学校低学年から>

『ちいさなハンター』 佐藤まどか/作 あべ弘士/絵 今泉忠明/監修 講談社 2019.3 ¥1200

ナミビアで、母親と共に生活しているチーターのチノと3姉弟。ある朝起きると母親の姿がない。もう子どもだけで暮らしていけるという合図だ。じきに雌のララもいなくなる。成長した雌は、たった1頭で生きていくのがならわしなのだ。動物学者の監修で、お話を楽しみながら動物の家族のことがわかる「どうぶつのかぞく」シリーズ。パンダ、ペンギン他、8冊刊行。

#### <読み物-小学校中学年から>

『物語たくさんのお月さま』 ジェームズ・サーバー/作 ルイス・スロボドキン/絵 なかがわちひろ/訳 徳間書店 2019.4 ¥1700

海辺の王国に住む病気のレノアひめ。心配した王様が欲しいものはないかと尋ねると、「お月さまが欲しい」と言う。国の大臣や魔法使い、数学者は、そんな物は無理だと言うが、道化師は良い方法を考え、たちまち病気を治してしまう。当たり前だと信じられている物事をからかうような作品を多く発表した著者による、1943年コールデコット賞受賞作品。

『嵐をしずめたネコの歌』 アントニア・バーバー/作 ニコラ・ベイリー/絵 おひかゆうこ/訳 徳間書店 2019.3 ¥1700

マウスウォールに住む、メス猫のモーザーと年老いた漁師のトムは、毎日のんびり楽しく暮らしていた。ある年の冬、港に大嵐がや

ってくる。「嵐の大ネコ」があげられて海が荒れていることを知ったモーザーとトムは、船で港を出て、嵐を鎮める方法を考える。イギリスのコーンウォール地方に残る、「トム・バーコックの伝説」をもとに創作された、勇気あるネコと漁師の心あたたまる物語。

#### <読み物—小学校高学年から>

『やなせメルヘン アリスのさくらんぼ』 やなせたかし/著 復刊ドットコム 2019.2 ¥1800

「ぼくのかくものは童話ともいえず、さりとてメルヘンというもびつたりせず。やむなく「やなせメルヘン」と潜称しています」(あとがきより) やなせたかし作品の礎といえる短編童話集。大好きな兎のアリスから死刑宣告を受ける「アリスのさくらんぼ」、売れない漫画家とアンパンマンの出会いを描く「飛べ!アンパンマン」など全7作品を収録。生誕100周年の記念復刊作品。

『いつか、太陽の船』 村中李衣/作 こしだミカ/絵 新日本出版社 2019.3 ¥1500

気仙沼で大地震にあった小6の海翔。震災後、家族みんなで移住した根室の人々に支えられ、穏やかに暮らしていたが、未だに津波にのまれてしまった飼犬の記憶に苦しんでいた。ある日、突然、海翔の母親がいなくなる。神戸と気仙沼、2回も大震災に遭遇していた母親。泣き言一つ言わなかったが母親だったが…。現地取材の要素がたっぷりと盛り込まれた山口県在住作家による作品。

#### <読み物—中学生から>

『鹿の王 水底の橋』 上橋菜穂子/著 KADOKAWA 2019.3 ¥1600

250年前に滅びたオタワル王国の末裔、天才的な医師ホッサルとその恋人ミラルは、精神教医術の発祥の地・安房那領に招かれる。折しも次期皇帝争いの勃発。二人を呼び寄せた安房那侯の思惑、オタワル医術の生き残りを賭ける祖父リムエルの陰謀。次期皇帝候補毒殺未遂事件に、二人は翻弄されながらも…。国際アンデルセン賞受賞作家が描く、『鹿の王』に続く命の物語。

『羊の告解』 いとうみく/著 静山社 2019.3 ¥1300

いつもと変わらぬ朝、父さんが警察に任意同行された。殺人容疑!?母さんと弟とオレは、突如「加害者家族」として世間の目に晒される。彼女や親友にも知らせず、逃げるように転校した先で、兄が痴漢容疑で連行された戸高まいと出会い…。家族は父の犯罪の被害者なのか、相手に対しては同じ加害者なのか、揺れる中3の少年の視点から加害者家族の心情を描いた意欲作。

『ブライアーヒルの秘密の馬』 メガン・シェパード/作 リーヴァイ・ピンフォールド/絵 原田勝/訳 澤田亜沙美/訳 小峰書店 2019.3 ¥2000

ブライアーヒル療養所の鏡の中には、翼のある馬たちが住んでいる。それは、エマラインだけの秘密。ある日、立ち入り禁止の庭で傷を負ったペガサスを見つけた彼女は、馬を守るために指示されたミッションに挑む。第二次世界大戦中のイギリスを舞台に、心の傷を負い、結核に脅かされる子供たちの心情に寄り添ったファンタジー。モノクロの挿画が物語世界を引き立てる。

#### <ノンフィクション—小学校低学年から>

『うんどうがすきになる絵本 ①じょうずにおよげる!』 体育指導のスタートライン/監修 たごもりのりこ/絵 ポプラ社 2019.4 ¥2500

お父さんに連れられてプールに来た、泳ぐのが苦手なまみ。プールの中で見つけた光るゴーグルをかけてみると、途端に景色が海に変わる。海からは次々と海の生き物たちが現れ、まみは、浮かび方からけのび、バタ足と、泳ぎ方の指導を受けることに。あまりの上達に、お父さんはびっくり!運動に対する苦手意識を克服し、楽しみながら読める体育絵本。巻末に「指導のポイント」も掲載。

#### <ノンフィクション—小学校中学年から>

『ごみはどこへ ごみのしよりと利用』 高月紘/監修 WILL こども知育研究所/編・著 金の星社 2019.2 ¥3200

便利で豊かな生活と引き替えに増え続ける「ごみ」。ごみとは何か、どのように処理されているのか、ごみを減らすにはどのようにすればよいのか。最近話題の食品ごみや、海の生物に大きな影響を与えるマイクロプラスチックについても取り上げる、ごみについて、様々な角度から考えるシリーズ。『ごみを調べる』『ごみのゆくえ』『3Rでごみが生まれ変わる』の全3巻。

#### <ノンフィクション—小学校高学年から>

『池上彰と考えるフェイクニュースの見破り方 ④「ウソの情報」を出さない、受け取らない』 池上彰/監修 文溪堂 2019.3 ¥3200

興味深い情報であっても疑ってみる、不確かな情報をすぐに拡散しない、何かあったら自分一人で抱えこまない等、フェイクニュースによる被害者・加害者にならないようにするには、どうしたらいいかを考えさせる、メディアリテラシーを学ぶ本。他に『「正しい情報」って、なに?』『インターネットのしくみ』『知らないとおぼないSNS』の全4巻。

#### <ノンフィクション—中学生から>

『夢見る人』 パム・ムニョス・ライアン/作 ピーター・シス/絵 原田勝/訳 岩波書店 2019.2 ¥2400

病弱でいつも空想にふけっている少年ネフタリ。強くなれと怒る父親に認めてもらいたいが、夢見ることはやめられない。美しい物への感動や弱者を守る意思を大切に、やがてノーベル文学賞を受賞するチリの詩人パブロ・ネルーダの少年時代を、小説風に描いた伝記。緑インクの本文に国際アンデルセン賞受賞の画家による緑色の挿絵が美しい。巻末にパブロ・ネルーダの詩も掲載。

#### <研究書>

『生きる力を育む「朝の読書」 静寂と集中』 岩岡千景/著 高文研 2019.4 ¥1400

「朝の読書」が始まってから30年。新聞記者として興味を持った著者が、その始まりや「朝の読書・四原則」の理念について調べ、提唱者・林公や最初の実践者・大塚笑子の考えを紹介。また、「朝の読書」実践校を取材し、小・中・高での地道な取り組みの工夫など、様々な広がりを見せる今の「朝の読書」の様子を伝える。『東京新聞』等連載を加筆。朝の読書大賞受賞校一覧あり。

『かがくのとものもと 月刊科学絵本「かがくのとも」の50年』 福音館書店 2019.4 ¥2500

創刊50周年を迎えた月刊科学絵本「かがくのとも」。編集に込めた思いを、絵本のこそこそというページを集めて、デザイン性豊かな美しい見開きページで紹介する。第4部では、毎月の作品の表紙とあらすじを1ページに12冊、年度ごとに601作品すべてが並ぶ。唯一の増刊号や付録の再録、第一人者の科学絵本観、「かがくのとも」ができてきた過程の紹介など盛り沢山の1冊。

『昔話とその周辺 語りながら考えたこと』 筒井悦子/著 みやび出版 2019.3 ¥2000

40年以上にわたって岡山で文庫やストーリーテリング研究会を主宰してきた著者が、冊子の形で綴ってきたものを、東京子ども図書館名誉理事長松岡享子の勧めで出版。昔話を語ってきた「語り手」に思いを馳せ、語り手自身の人生を豊かにしてくれる昔話の魅力や、語ることの魅力などを力ある言葉で綴る。著者の昔話への造詣の深さや自己と真摯に向き合う姿勢が伝わってくる。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。